

指針に基づく情報公開

放射線影響研究所では、個人情報保護法に基づく研究倫理指針を遵守し、この研究については、対象となる方のお一人ずつに直接説明を行い同意を得る代わりに、情報を公開することにより試料・情報を利用させていただいています。

研究成果は学会や学術誌等で発表されますが、お名前、ご住所などの情報が公表されることはありません。

研究計画書番号	RP-S1-18
研究課題名	2型糖尿病、肥満と乳がんのリスク
研究責任者（所属）	マスカリネック・ゲルトラウド（ハワイ大学がんセンター）
放影研での研究責任者	定金敦子
試料・情報の利用目的及び 利用方法	<p>利用目的： 2型糖尿病や肥満の乳がんの発症への関与を明らかにすること</p> <p>利用方法： 原爆傷害調査委員会および放射線影響研究所では、寿命調査の対象となっている方々に対して過去に質問票調査を実施し、糖尿病や肥満の状況を調査しました。本研究では、原爆からの被ばく線量が比較的低い女性の方を対象として、糖尿病や肥満がその後の乳がんの発症におよぼす影響を分析します。その際、個人情報は匿名化され、個人が特定されることはありません。分析結果は学術論文等において集計値として公表します。</p>
他の機関への提供の有無	<p><input checked="" type="checkbox"/>有（提供先機関：ハワイ大学がんセンター）外部の研究責任者へ分析用のデータを提供する目的のために、個人情報を匿名化（対応表は放影研が保持します）したうえで、データを提供します。匿名性を高めるために、個人の特定につながる可能性のある情報は丸めて提供します。</p> <p><input type="checkbox"/>無</p>
利用し、又は提供する 試料・情報の項目	<p>1) 対面調査および質問票調査に基づく原爆被爆状況（原爆からの被ばく線量が比較的低い方を選定する目的にのみ使用し、他の機関への提供、および、分析での利用は行いません）</p> <p>2) 過去の質問票調査を通して得た糖尿病や肥満に関する情報</p> <p>3) 追跡調査に基づく生死および死因、がん罹患に関する情報 （がん罹患に関する情報は RP18-61 & RP29-60 で取得したものです）</p>
利用する者の範囲	<p>ハワイ大学がんセンター マスカリネック・ゲルトラウド 放射線影響研究所 小笹晃太郎 定金敦子 疫学部解析室の担当職員</p>
試料・情報の管理に責任を 有する者の氏名又は名称	マスカリネック・ゲルトラウド（ハワイ大学がんセンター）

統括個人情報保護管理者	放射線影響研究所 業務執行理事 児玉和紀
問い合わせ先	【研究担当者】 氏名：小笹晃太郎 公益財団法人 放射線影響研究所 疫学部 住所：広島市南区比治山公園 5 番 2 号 TEL：082-261-3131